

授業科目	生理解剖学 I	単位	生理解剖学 I で 1単位	時間数	8時間	講義時期	1年次前期	担当者	徳山 今日子
								職種	専任教員
授業の目標・ねらい	1. 人体の構成と系統について理解する。 2. 細胞と臓器と器官との間の関係について理解する。 3. 皮膚・視覚・聴覚・平衡感覚・味覚など人が感じる様々な感覚の不思議さを理解する。								
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当	
		1	皮膚・体性感覚				講義	徳山	
		2	眼・視覚				講義	徳山	
		3	耳・聴覚・平衡				講義	徳山	
		4	味覚・嗅覚				講義	徳山	
		5	試験						
評価方法	レポート及び授業、小テストと定期試験の結果により総合的に判断する。								
履修上の注意									
テキスト	系看:専門基礎1 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 (医学書院) イラストで学ぶ 解剖学・生理学(医学書院)								
参考図書	ナースが観る人体 薄井担子(講談社) 人体解剖ビジュアル からだの仕組みと病気(村松譲児) クイックマスター 生理解剖学(医学芸術社)								

授業科目	生理解剖学 I	単位	生理解剖学 I で 1単位	時間数	8時間	講義時期	1年次前期	担当者	フラピエ かおり
								職種	看護師
授業の目標・ねらい	1. 人体の構成と系統について理解する。 2. 細胞と臓器と器官との間の関係について理解する。								
授業内容および方法	単元のまとまり	回	主題					方法	担当
		1	人体の構成と区分					講義・演習	フラピエ かおり
		2	細胞とは					講義	フラピエ かおり
		3	組織とは					講義	フラピエ かおり
		4	人体の構成と区分 発表					講義・演習	フラピエ かおり
			試験						
評価方法	レポート及び授業、小テストと定期試験の結果により総合的に判断する。								
履修上の注意									
テキスト	系看:専門基礎1 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 (医学書院) イラストで学ぶ 解剖学・生理学(医学書院)								
参考図書	ナースが観る人体 薄井担子(講談社) 人体解剖ビジュアル からだの仕組みと病気(村松譲児) クイックマスター 生理解剖学(医学芸術社)								

授業科目	生理解剖学 I	単位	生理解剖 I で1 単位	時間数	14時間	講義時期	1年次前期	担当者	川合 陽子
								職種	専任教員
授業の目標・ねらい	1. 生命を連続させていくための器官と働きについて理解する。 2. 女性生殖器の構造と機能について理解する。 3. 男性生殖器の構造と機能について理解する。 4. 妊娠の成立と胎児の発生・性分化のメカニズムについて理解できる。								
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当	
		1	生殖と性、女性生殖器の構造(卵巣・卵管・子宮・膣・外陰部・会陰・乳房)				講義	川合	
		2	女性の生殖機能:性周期(子宮周期、卵巣周期)視床下部-下垂体-性腺(卵巣)の内分泌調節機構女性ホルモン(エストロゲン・プロゲステロン)の作用機序				講義	川合	
		3							
		4	女性の生殖機能:妊娠の成立と生理的变化、乳腺の発達と乳汁分泌のメカニズム 女性の生殖機能:性周期小テスト				講義	川合	
		5	男性生殖器の構造と機能:精子の形成と成熟、視床下部-下垂体-性腺(精巣)の内分泌調節機構 男性ホルモンの作用機序				講義	川合	
		6	男性の生殖機能小テスト 胎児の発生:生殖細胞と受精、初期発生と着床、胎児と胎盤、胎児の血液循環				講義	川合	
		7					講義	川合	
			試験				テスト	川合	
評価方法	小テスト・筆記試験								
履修上の注意	生殖器は個体の生命維持には直接関係しませんが、次の世代の個体を生みだして種を維持する役割を持っています。わたしたちひとりひとは極めて小さい存在であり、いずれ死を迎えますが、人間は生命を引き継ぐ生殖というメカニズムをもって生まれてきた存在です。自分自身のなかにある神秘と生殖のメカニズムについて共に学びましょう。								
テキスト	系看:専門基礎1 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 (医学書院) イラストで学ぶ 解剖学・生理学(医学書院)								
参考図書	成人看護学9 女性生殖器 (医学書院) 成人看護学8 腎・泌尿器 (医学書院)								

授業科目	生理解剖学Ⅱ		単位	生理解剖学Ⅱ で1単位	時間数	12時間	講義時期	1年次	担当者	赤堀 夏海	
									職種	専任教員	
授業の目標・ねらい	<p>1. 全身の骨は、身体を形作り支え、日常生活の拡大に関する器官であることが理解できる。</p> <p>2. 全身の筋肉の構造は、骨格と協働して身体の運動と姿勢をつかさどることが理解できる。</p>										
授業内容および方法	単元のまとまり	回	主題					方法	担当者		
		1	人体の骨格 骨の名称 骨の形態と構造 骨組織 身体を支える脊柱の構造					講義	赤堀		
		2	骨の組成 骨の発生と成長 関節の構造 関節の名称 関節の運動					講義	赤堀		
		3	関節の形状と可動性 骨格筋・心筋・平滑筋の特徴					講義	赤堀		
		4	骨格筋収縮のメカニズム 筋の作用 フィラメント					講義・GW	赤堀		
		5	筋収縮のエネルギー ATP分解 収縮の種類 骨格筋肥大と増強					講義	赤堀		
		6	人体の動きと筋の働き					講義	赤堀		
		7	試験						赤堀		
評価方法	筆記試験30点										
履修上の注意	<p>身体の“動き”に関わる単元ですので、体を動かすこともあります。</p> <p>予習・復習をすること。看護師国家試験の出題基準に沿って、項目ごと用紙に整理していくこと。</p> <p>理解度の確認のために小テストをすることもあります。看護師国家試験の出題基準に沿って、項目ごと用紙に整理していくこと。</p>										
テキスト	系看: 専門基礎1 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 (医学書院)										
参考図書	<p>フィジカルアセスメント ガイドブック (医学書院)</p> <p>イラストで学ぶ生理学 (医学書院)</p> <p>イラストで学ぶ解剖学 (医学書院)</p> <p>系看 専門分野Ⅱ 成人看護学11 運動器 (医学書院)</p>										

授業科目	生理解剖学Ⅱ		単位	生理解剖学Ⅱ で1単位	時間数	18時間	講義時期	1年次前期	担当者	増田 幸子
									職種	専任教員
授業の目標・ねらい	1. 生命を維持していくにあたって、重要な器官であることを理解する。 2. 呼吸のしくみと役割を理解する。 3. 心臓のしくみと役割を理解する。 4. 血管の構造としくみについて理解する。 5. 体温調節について理解する。 6. 呼吸と循環のつながりを理解する。									
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題			方法		担当者		
		1	呼吸器の解剖			講義・グループワーク		増田		
		2	呼吸とは			講義・グループワーク		増田		
		3	ガス交換			講義・グループワーク		増田		
		4	心臓の解剖	小テスト		講義・グループワーク		増田		
		5	冠動脈			講義・グループワーク		増田		
		6	刺激電動系			講義・グループワーク		増田		
		7	心拍とは	小テスト		講義・グループワーク		増田		
		8	血圧			講義・グループワーク		増田		
		9	呼吸と循環	小テスト		講義・グループワーク		増田		
		10	試験					増田		
評価方法	筆記試験、小テストを含む									
履修上の注意	授業の臨む際に教科書を読んで予習しておくことが望ましい 授業で配布したプリント・資料はファイルに付箋をつけて整理・保存しておくこと									
テキスト	系看: 専門基礎1 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 (医学書院) イラストで学ぶ解剖学 (医学書院) イラストで学ぶ生理学 (医学書院)									
参考図書	医学芸術社: 人体解剖ビジュアル からだの仕組みと病気 学研: カラーアトラスからだの構造と機能 医学書院: イラストでまなぶ人体のしくみとはたらき									

授業科目	生理解剖学Ⅲ	単位	生理解剖学Ⅲ で1単位	時間数	20時間	講義時期	1年次前期	担当者	栞原 和恵
								職種	専任教員
授業の目標・ねらい	<p><血液リンパ系></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 体液のしくみとそれぞれの役割について理解する。 2. 血液の構成・血球成分の分類とそれぞれの機能を理解する。 3. 免疫機能について理解する。 4. 血液凝固と線溶のしくみについて理解する。 5. 血液型の種類と適合方法、不適合について理解する。 <p><内部環境の調整></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 内分泌器官の場所・名称、分泌するホルモンの名称・働きについて理解する。 2. ホルモン分泌の調整について理解する。 3. 血液中の糖代謝に関わるホルモンについて理解する。 4. 血液中のカルシウム代謝に関わるホルモンについて理解する。 5. 汎適応症候群のしくみについて理解する。 								
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当者	
	血液リンパ系	1	体液の仕組みと役割				講義	栞原	
		2	血液の働きと構成				講義	栞原	
		3	赤血球の発生と貧血				講義	栞原	
		4	白血球の働きと免疫機能				講義	栞原	
		5	血液凝固因子と機序、線溶 血液型				講義	栞原	
	内分泌系	6	ホルモンの特性				講義	栞原	
		7	視床下部、下垂体、甲状腺、副甲状腺の働き				講義	栞原	
		8	カルシウム調整のしくみ 膵臓の働き				講義	栞原	
		9	副腎皮質、髄質の働き 血圧維持のしくみ				講義	栞原	
		10	汎適応症候群の仕組み まとめ				講義	栞原	
		11	試験						
単元ごとは順不同です。									
評価方法	筆記試験								
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・2回毎の講義の小テストを行います。 小テストで6割未満の点数の場合、小テストの振り返りレポートを提出してもらいます。 								
テキスト	系看: 専門基礎1 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 (医学書院) イラストで学ぶ解剖学 (医学書院) イラストで学ぶ生理学 (医学書院)								
参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・御供泰治 おもしろ看護血液学 メディカ出版 ・御供泰治 たとえで学ぶ免疫学 メディカ出版 ・増田敦子 解剖生理をおもしろく学ぶ 医学芸術社 ・ビデオ 476(血液)529(免疫)22(内分泌) 								

授業科目	生理解剖学Ⅲ	単位	生理解剖学Ⅲ で 1単位	時間数	10時間	講義時期	1年次前期	担当者	小沼 由美
								職種	専任教員
授業の目標・ねらい	1. 肝臓・胆嚢の構造と機能について理解する。 2. 泌尿器系に属する器官と役割について理解する。 3. 腎臓の構造と機能について理解する。 4. 腎臓とホルモン(体液と血圧の調整)について理解する。 5. 酸・塩基平衡を調整するメカニズムを理解する。 6. 酸・塩基平衡の異常であるアシドーシスとアルカローシスについて理解する。								
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題		方法		担当者		
		1	肝臓の構造と機能		講義		小沼		
		2	胆嚢の構造と機能		講義		小沼		
		3	腎臓の構造、尿生成のメカニズム		講義		小沼		
		4	排泄路		講義		小沼		
		5	体液の調節		講義		小沼		
		6	試験				小沼		
評価方法	授業前レポート 筆記試験(小テストを含む)								
履修上の注意	事前に授業範囲を伝えるので、内容をまとめて提出してください。 内容に応じて、試験の点数に加味します。 2回講義が終わった毎に、小テストを行います。 小テストの6割未満の点数の場合は、振り返りのレポートを提出してもらいます。								
テキスト	系看:専門基礎1 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 (医学書院) イラストで学ぶ解剖学 (医学書院) イラストで学ぶ生理学 (医学書院)								
参考図書	・ ナーシンググラフィカ 解剖生理学 メディカ出版 ・ 増田敦子 解剖生理をおもしろく学ぶ 医学芸術社 ・ コアテキスト 人体の構造と機能 医学書院 ・ 生理学はじめの一步 メディカ出版 ・ ビデオ 10, 19, 455(肝)								

授業科目	生理解剖学Ⅲ	単位	1単位	時間数	30時間	講義時期	1年次前期	担当者	小沼 由美
								職種	専任教員
授業の目標・ねらい	<p><血液リンパ系></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 体液のしくみとそれぞれの役割について理解する。 2. 血液の構成・血球成分の分類とそれぞれの機能を理解する。 3. 免疫機能について理解する。 4. 血液凝固と線溶のしくみについて理解する。 5. 血液型の種類と適合方法、不適合について理解する。 <p><内部環境の調整></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 内分泌器官の場所・名称、分泌するホルモンの名称・働きについて理解する。 2. ホルモン分泌の調整について理解する。 3. 血液中の糖代謝に関わるホルモンについて理解する。 4. 血液中のカルシウム代謝に関わるホルモンについて理解する。 5. 汎適応症候群のしくみについて理解する。 <p><肝臓と胆嚢、体液の調整と尿の生成></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 肝臓・胆嚢の構造と機能について理解する。 2. 泌尿器系に属する器官と役割について理解する。 3. 腎臓の構造と機能について理解する。 4. 腎臓とホルモン(体液と血圧の調整)について理解する。 5. 酸・塩基平衡を調整するメカニズムを理解する。 6. 酸・塩基平衡の異常であるアシドーシスとアルカローシスについて理解する。 								
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当者	
	血液リンパ系	1	体液の仕組みと役割				講義	小沼	
		2	血液の働きと構成				講義	小沼	
		3	赤血球の発生と貧血				講義	小沼	
		4	白血球の働きと免疫機能				講義	小沼	
		5	血液凝固因子と機序、線溶 血液型 まとめ				講義	小沼	
	肝・胆・腎	6	肝臓の構造と機能				講義	小沼	
		7	胆嚢の構造と機能				講義	小沼	
		8	腎臓の構造、尿生成のメカニズム				講義	小沼	
		9	排尿器				講義	小沼	
		10	体液の調節 まとめ				講義	小沼	
	内分泌系	11	ホルモンの特性				講義	小沼	
		12	視床下部、下垂体、甲状腺、副甲状腺の働き				講義	小沼	
		13	カルシウム調整のしくみ 膵臓の働き				講義	小沼	
		14	副腎皮質、髄質の働き 血圧維持のしくみ				講義	小沼	
15		汎適応症候群の仕組み まとめ				講義	小沼		
評価方法	授業前レポート 筆記試験(小テスト・単元テスト)								
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に授業範囲を伝えるので、内容をまとめて提出してください。内容に応じて、試験の点数に加味します。 ・2回毎の講義の小テストを行います。小テストで6割未満の点数の場合は、振り返りレポートを提出してもらいます。 ・単元の最後に単元テストを行います。小テスト・単元テストを合算し、試験の点数とします。 								
テキスト	系看: 専門基礎1 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 (医学書院) イラストで学ぶ解剖学 (医学書院) イラストで学ぶ生理学 (医学書院)								
参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・御供泰治 おもしろ看護血液学 メディカ出版 ・御供泰治 たとえて学ぶ免疫学 メディカ出版 ・増田敦子 解剖生理をおもしろく学ぶ 医学芸術社 ・ナーシンググラフィカ 解剖生理学 メディカ出版 ・コアテキスト 人体の構造と機能 医学書院 								

授業科目	生理解剖学IV	単位	生理解剖学IV で1単位	時間数	15時間	講義時期	1年次前期	担当者	山本 淳子
								職種	専任教員
授業の目標・ねらい	<p>人体をコントロールし、生活環境に適応させているのは、内分泌系と神経系である。中でも神経系は身体各部の行動や連絡を統率しており、その役割は大きい。人間としての物の考え方、行動は十人十色であり、その人らしさをつくり出しているのもこの神経系である。この仕組みについて学ぶ。</p>								
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当者	
	脳・神経系	1	神経系の概要 ニューロン・情報伝達・神経系の構造				講義	山本	
		2	脳の構造 中枢神経と脊髄について				講義	山本	
		3	中枢神経 間脳・大脳				講義	山本	
		4	末梢神経 脳神経				講義	山本	
		5	自律神経 交感神経・副交感神経				講義	山本	
		6	脳の高次機能について				講義	山本	
		7	脳血管系の構造と機能				講義	山本	
		8	試験				講義	山本	
評価方法	筆記試験								
履修上の注意	<p>予習復習をすること。 理解度把握のため小テストをします。それを活用して反復学習をし、理解につなげましょう。 看護師国家試験の出題基準にそって、項目ごと用紙に整理をしていくこと。</p>								
テキスト	<p>系看: 専門基礎1 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 (医学書院) イラストで学ぶ解剖学 (医学書院) イラストで学ぶ生理学 (医学書院)</p>								
参考図書	<p>尾岸恵三子監訳 ヒューマンボディ エルゼビア・ジャパン エレイン N. マリーブ 人体の構造と機能 医学書院 田中越郎 イラストでまなぶ人体のしくみとはたらき 医学書院</p>								

授業科目	生理解剖学IV	単位	生理解剖学IV で1単位	時間数	15時間	講義時期	1年次前期	担当者	塚田 佳代美
								職種	専任教員
授業の目標・ねらい	<p>消化器系は、口から摂取した食物が肛門から排泄されるまで続く1本の消化管と消化酵素を分泌する臓器で構成されている。消化酵素により血管壁を通過できる分子まで分解され吸収される。そして合成、分解を繰り返して、活動に必要なエネルギーの産生し、不要なものを排泄するという仕組みである。人間の生命の営みを維持する大切な役割を果たしている。ここでは、咀嚼、嚥下、消化、吸収、排泄に区分して各臓器の働きを学んでいく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 食物の消化、吸収、排泄の器官について理解する。 2. 消化、吸収、排泄のメカニズムについて理解する。 3. 消化、吸収に関与する消化液、消化ホルモン、消化酵素について理解する。 4. 腹膜と臓器の関係について理解する。 								
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題	方法	担当者				
		1	消化器とは。腹膜内器官と後腹膜器官	講義	塚田				
		2	消化器の構造と機能: 1. 口の構造と機能	講義・GW	塚田				
		3	2. 咽頭と食道の構造と機能、咀嚼と嚥下	講義	塚田				
		4	3. 胃の構造と機能	講義	塚田				
		5	4. 小腸の構造と機能、膵臓の構造と機能	講義	塚田				
		6	5. 栄養素の消化と吸収のメカニズム	講義・GW	塚田				
		7	6. 大腸の構造と機能	講義	塚田				
		8	テスト		塚田				
評価方法	筆記試験(小テスト2回分を含む)								
履修上の注意	<p>授業で配布したプリントはファイルに綴じて管理すること。 小テストを2回実施。6割未満はレポート提出。 復習はもちろんですが、予習をして授業に臨んでください。</p>								
テキスト	<p>系看: 専門基礎1 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 (医学書院) イラストで学ぶ解剖学 (医学書院) イラストで学ぶ生理学 (医学書院)</p>								
参考図書	<p>増田敦子: 解剖生理をおもしろく学ぶ 医学芸術者 江連和久: 看護学生のための解剖生理 メジカルフレンド社 イメカラ 消化器 メディック メディア社</p>								

授業科目	生理解剖学 Ⅴ 演習	単位	1単位	時間数	15時間	講義時期	1年次前期	担当者	山本 淳子 大澤 恵実子他
								職種	専任教員
授業の 目標・ねらい	<p>日常生活行動における現象を生理解剖学の知識を統合させて理解する思考過程を踏み、既習学習を再確認する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生理解剖学で学んだ知識を活用し、身体がどういう仕組みで生活行動を成し遂げているか理解できる。 2. 自主的な学習態度とグループへの協調性をもち取り組むことができる。 3. グループで学習した内容をわかりやすくプレゼンテーションすることができる。 4. 演習を通して自らを振り返り、得られた気づきから自己の課題を明確にすることができる。 								
授業内容および 方法	単元のまとめ	回	主題	方法	担当者				
	まとめ 演習	1	事前学習発表と事例グループ学習	講義	山本				
		2	事例検討グループワーク	講義	山本				
		3	事例検討グループワーク	講義	山本				
		4	事例検討グループワーク	講義	山本				
		5	ポスターセッション	発表会	山本				
		6	ポスターセッション	発表会	山本				
		7	グループ学習会とまとめ	グループワーク	山本				
		8	試験		山本				
単元ごとは順不同です。									
評価方法	演習の参加状況、発表、筆記試験で評価								
履修上の注意	4月からの生理解剖学の講義を復習しファイル作成を行っていきます。そのファイルを活用してグループで進めていくので、責任をもって準備をする必要があります。提示された事例を理解できるようグループで協同学習を進めていきます。								
テキスト	系看: 専門基礎1 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 (医学書院) イラストで学ぶ解剖学 (医学書院) イラストで学ぶ生理学 (医学書院)								
参考図書	事例に基づいて必要な参考文献は図書室で検索してください。								

授業科目	生化学	単位	1単位	時間数	30時間	講義時期	1年次	担当者	富田 勲
								職種	
授業の目標・ねらい	<p>人間の生命現象を科学的側面から捉え、物質代謝、エネルギー代謝の仕組みについて学習し、疾患の病態を捉えるために役立つ知識を身につける。</p> <p>1. 生体を構成する種々の物質が生体内でどのような働きをしているのかを学ぶ。 2. 物質が身体のなかでどのように合成され分解されるのか学ぶ</p>								
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当者	
		1	生化学の概論				講義	富田	
		2	細胞構成課程の名称と役割				講義	富田	
		3	三大栄養素などの働き				講義	富田	
		4	ビタミン、ミネラル、ポリフェノール代謝の概要と栄養素				講義	富田	
		5	糖質・脂質・タンパク質の代謝 補酵素との関連				講義	富田	
		6	酵素・補酵素と糖質				講義	富田	
		7	エネルギー代謝と糖質、脂質				講義	富田	
		8	脂質の種類と代謝				講義	富田	
		9	タンパク質・アミノ酸の特性と代謝による物質				講義	富田	
		10	タンパク質代謝とインスリンを主にたんぱく質の機能				講義	富田	
		11	血液成分と解毒				講義	富田	
		12	遺伝情報				講義	富田	
		13	遺伝情報の伝わりとがん				講義	富田	
		14	総括				講義	富田	
	15	試験 がんに対するトピックス					富田		
評価方法	筆記試験								
履修上の注意									
テキスト	系看: 専門基礎 人体の構造と機能(2) 生化学(医学書院)								
参考図書									

授業科目	微生物学	単位	1単位	時間数	30時間	講義時期	1年次	担当者	石井 明
								職種	
授業の目標・ねらい	1. 細菌、真菌、原虫、ウイルスなど種々の微生物の性状とその特徴を学ぶ。 2. 病原体が引き起こす感染症についてその病態、診断、予防及び治療法を学習する。 3. 病原体の感染に対する生体の免疫反応や防御機構を理解する。 4. 医療看護の場において病原体の感染から患者、職員及び自分を守る知識を養う。								
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当者	
		1	微生物総論①				講義	石井	
		2	微生物総論②				講義	石井	
		3	感染と感染症①				講義	石井	
		4	感染と感染症②				講義	石井	
		5	生体防御機構①				講義	石井	
		6	生体防御機構②				講義	石井	
		7	感染症の予防①				講義	石井	
		8	感染症の予防②				講義	石井	
		9	感染症の診断				講義	石井	
		10	感染症の治療				講義	石井	
		11	細胞学各論				講義	石井	
		12	真菌学各論				講義	石井	
		13	ウイルス①				講義	石井	
		14	ウイルス②				講義	石井	
			15	試験 微生物学総括					石井
評価方法	筆記試験								
履修上の注意	講義時間では教科書の全ての内容を十分に解説できないので、各自、教科書や参考書を参考にして自主的に学習すること								
テキスト	系看:専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進[4]微生物学(医学書院)								
参考図書	戸田新細菌学[改訂33版]吉田眞一他編集 南山堂 微生物学-病原微生物の基礎-[改訂第5版] 柳原保武、多村憲編集(南山堂)								

授業科目	病態生理学 総論	単位	1単位	時間数	15時間	講義時期	1年次	担当者	橘 充弘
								職種	医師
授業の 目標・ね らい	1.疾患に罹患して生じた形態的・機能的変化を通して、病態の概念を学び、疾患の正しい認識を養う。 2. 基本的な病変の病理(原因・発生・機序・形態的変化)を理解する。								
授業内容および 方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当者	
		1	病理総論				講義	橘	
		2	腫瘍				講義	橘	
		3	炎症①				講義	橘	
		4	炎症②				講義	橘	
		5	循環器				講義	橘	
		6	代謝障害(小テスト)				講義	橘	
		7	遺伝学総論				講義	橘	
		8	試験					橘	
評価方法	筆記試験								
履修上の注意									
テキスト	病理学 第2版 (サイオ出版) パワーアップ問題演習 第2版 (サイオ出版)								
参考図書									

授業科目	病態生理学 I	単位	病態生理学 I	時間数	6時間	講義時期	1年次	担当者	畑野 翔太郎
	泌尿器の障害		で1単位					職種	医師
授業の目標・ねらい	1. 泌尿器の障害の病態、臨床検査、診断、治療について理解する。 2. 看護するにあたり病態の変化を予測し、対応できる基礎的知識を理解する。								
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題			方法	担当者		
		1	腎・泌尿器の解剖生理振り返り 排尿に関連した症状、主な検査(膀胱鏡・経尿道的検査・尿流動態検査等)			講義	畑野		
		2	尿路結石症、尿路の通過障害と機能障害(BPH、神経因性膀胱等) 排尿に関連した感染症			講義	畑野		
		3	尿路・性器の腫瘍(治療として尿路変更術等)、男性性機能障害、 排尿障害			講義	畑野		
		4	試験				畑野		
評価方法	筆記試験								
履修上の注意									
テキスト	系看: 専門分野 成人看護学8腎・泌尿器(医学書院)								
参考図書									

授業科目	病態生理学 I 女性生殖器の障害		単位	病態生理学 I で1単位	時間数	6時間	講義時期	1年次	担当者	小松 孝之
										職種
授業の目標・ねらい	1. 女性生殖器の障害の病態、臨床検査、診断、治療について理解する。 2. 看護するにあたり必要な基礎的知識を理解する。									
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当者		
		1	女性生殖器疾患の概要				講義	小松		
		2	産婦人科の感染症と救急疾患				講義	小松		
		3	婦人科悪性腫瘍				講義	小松		
		4	試験					小松		
評価方法	筆記試験									
履修上の注意										
テキスト	系看: 専門Ⅱ 成人看護学9 女性生殖器 (医学書院)									
参考図書										

授業科目	病態生理学Ⅰ 血液・リンパ系の障害		単位	病態生理学Ⅰ で1単位	時間数	10時間	講義時期	1年次	担当者	柳田 宗之
									職種	医師
授業の目標・ねらい	1. 血液・リンパの障害の病態、臨床検査、治療について理解する。 2. 免疫系の障害・感染による障害の病態、臨床検査、診断、治療について理解する。 3. 看護するにあたり病態の予測をし、対応できる基礎的知識を理解する。									
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当者		
		1	血液の生理と造血の仕組み、検査(骨髄穿刺、出血傾向検査等)治療(化学療法、輸血、骨髄移植等)				講義	柳田		
		2	赤血球系の異常(鉄欠乏性貧血、巨赤芽球性貧血、再生不良性貧血、溶血性貧血等)白血球系の異常(無顆粒球症、伝染性単核球症)				講義	柳田		
		3	造血器腫瘍(急性白血病、MDS,CML,CLL、ATLL)、悪性リンパ腫、骨髄腫)出血性疾患(ITP,TTP,血友病、DIC)				講義	柳田		
		4	免疫とアレルギーのしくみ、検査(自己抗体検査、アレルギー検査)アレルギー疾患、アナフィラキシー				講義	柳田		
		5	膠原病、自己免疫疾患とその機序、全身性エリテマトーデス、関節リウマチ、シェーグレン症候群、後天性免疫不全症候群				講義	柳田		
		6	試験					柳田		
評価方法	筆記試験									
履修上の注意										
テキスト	系看:専門分野 成人看護学4 血液・造血器系(医学書院) 系看:専門分野 成人看護学11 アレルギー・膠原病系 (医学書院)									
参考図書										

授業科目	病態生理学 I 体の支持と運動 の障害		単 位	病態生理学 I で1単位	時 間 数	8時間	講 義 時 期	1年次	担 当 者	加藤 弘文	
										職 種	医師
授業の 目標・ね らい	1. 骨・筋系の障害の病態、臨床検査、診断、治療について理解する。 2. 看護するにあたり病態の変化を予測し、対応できる基礎的知識を理解する。										
授業内 容および 方法	単元のまとめ	回	主題					方法	担当者		
		1	人工股関節					講義	加藤		
		2	骨粗しょう症、リウマチ					講義	加藤		
		3	ギブス巻き実習					講義、演習	加藤		
		4	大腿骨頸部骨折					講義	加藤		
		5	試験						加藤		
評価方法	筆記試験										
履修上の注意											
テキスト	系看:専門分野 成人看護学10 運動器系(医学書院)										
参考図書											

授業科目	病態生理学Ⅱ 内分泌・代謝の障害		単位	病態生理学Ⅱ で1単位	時間数	10時間	講義時期	1年次	担当者	坪井堅太郎
									職種	医師
授業の目標・ねらい	1. 内分泌系の障害の病態、臨床検査、診断、治療について理解する。 2. 看護するにあたり病態の変化を予測し、対応できる基礎的知識を理解する。									
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題					方法	担当者	
		1	内分泌・代謝の生理・解剖、症状とその病態生理 視床下部・下垂体疾患(クッシング病、下垂体腫瘍、巨人症等)					講義	坪井	
		2	甲状腺疾患(橋本病、バセドウ病、甲状腺機能低下症、甲状腺腫瘍) 副甲状腺疾患(原発性・続発性副甲状腺機能亢進症、低下症等)					講義	坪井	
		3	副腎疾患(原発性アルドステロン症、クッシング症候群、アジソン病) 糖尿病(疾患の概要、分類、検査、診断、コントロールの指標)					講義	坪井	
		4	糖尿病の治療(食事・運動・薬物療法)合併症(急性・慢性)					講義	坪井	
		5	脂質異常、メタボリックシンドローム、尿酸代謝異常					講義	坪井	
		6	試験							
評価方法	筆記試験									
履修上の注意										
テキスト	系看:専門分野 成人看護学6 内分泌・代謝(医学書院)									
参考図書										

授業科目	病態生理学Ⅱ 消化器の障害		単位	病態生理学Ⅱ で1単位	時間数	14時間	講義時期	1年次	担当者	松下 雅広
										職種
授業の 目標・ね らい	1. 消化器の障害の病態、臨床検査、診断、内科的治療について理解する。 2. 看護するにあたり病態の変化を予測し、対応できる基礎的知識を理解する。									
授業内 容および 方法	単元のまとめ	回	主題					方法	担当者	
		1	構造と機能①					講義	松下	
		2	構造と機能②					講義	松下	
		3	病態生理①					講義	松下	
		4	病態生理②					講義	松下	
		5	上部消化管					講義	松下	
		6	下部消化管					講義	松下	
		7	胆肝膵疾患					講義	松下	
		8	試験							
評価方法	筆記試験									
履修上の注意										
テキスト	系看: 専門分野 成人看護学5 消化器(医学書院)									
参考図書										

授業科目	病態生理学Ⅱ 腎機能の障害	単位	病態生理学Ⅱ で1単位	時間数	6時間	講義時期	1年次	担当者	野垣 文昭
								職種	医師
授業の目標・ねらい	1. 腎機能の障害の病態、臨床検査、診断、治療について理解する。 2. 看護するにあたり病態の変化を予測し、対応できる基礎的知識を理解する。								
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当者	
		1	腎臓の解剖生理振り返り、腎機能検査、腎生検、腎機能障害による症状(浮腫、循環器系による異常、血液の異常等)				講義	野垣	
		2	腎疾患(ネフローゼ症候群、糸球体腎炎、腎血管性病変、腎腫瘍等)				講義	野垣	
		3	腎不全と治療、透析療法(HDとPD)腎移植				講義	野垣	
		4	試験						
評価方法	筆記試験								
履修上の注意									
テキスト	系看:専門分野 成人看護学8 腎・泌尿器系(医学書院)								
参考図書									

授業科目	病態生理学Ⅲ 脳神経の障害	単位	病態生理学Ⅲ で1単位	時間数	10時間	講義時期	1年次	担当者	浦野 裕美子
								職種	医師
授業の目標・ねらい	1. 脳神経の障害の病態、臨床検査、診断、治療について理解する。 2. 看護するにあたり病態の変化を予測し、対応できる基礎的知識を理解する。								
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当者	
		1	脳血管障害				講義	浦野	
		2	くも膜下出血				講義	浦野	
		3	脳梗塞				講義	浦野	
		4	脳梗塞、もやもや病				講義	浦野	
		5	脳腫瘍				講義	浦野	
		6	頭部外傷				講義	浦野	
		7	外傷				講義	浦野	
		8	末梢神経障害				講義	浦野	
		9	脱髄				講義	浦野	
		10	まとめ				講義	浦野	
	11	試験					浦野		
評価方法	筆記試験								
履修上の注意									
テキスト	系看:専門分野 成人看護学7 脳・神経系(医学書院)								
参考図書									

授業科目	病態生理学Ⅲ 呼吸の障害	単位	病態生理学Ⅲ で1単位	時間数	10時間	講義時期	1年次	担当者	小林 淳
								職種	医師
授業の目標・ねらい	1. 呼吸の障害の病態、臨床検査、診断、治療について理解する。 2. 看護するにあたり病態の変化を予測し、対応できる基礎的知識を理解する。								
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当者	
		1	呼吸器疾患 肺炎、気管支鏡				講義	小林	
		2	呼吸器疾患 喘息				講義	小林	
		3	COPD				講義	小林	
		4	肺がん、自然気胸				講義	小林	
		5	肺結核、非結核性抗酸菌症				講義	小林	
		6	試験					小林	
評価方法	筆記試験								
履修上の注意									
テキスト	系看:専門分野 成人看護学2 呼吸器系 (医学書院)								
参考図書									

授業科目	病態生理学Ⅲ 循環の障害		単位	病態生理学Ⅲ で1単位	時間数	6時間	講義時期	1年次	担当者	青山 武 松岡良太 金森範夫
										職種
授業の 目標・ね らい	1. 循環器系の病態、臨床検査、診断、治療について理解する。 2. 看護するにあたり病態の変化を予測し、対応できる基礎的知識を理解する。									
授業内 容および 方法	単元のまとめ	回	主題					方法	担当者	
	心不全	1	心不全の病態と治療①					講義	青山	
		2	心不全の病態と治療②					講義	青山	
	脈	3	不整脈					講義	松岡	
		4	高血圧					講義	松岡	
	冠動脈	5	循環の異常①					講義	金森	
		6	循環の異常②					講義	金森	
		7	試験							
単元ごとは順不同です。										
評価方法	筆記試験									
履修上の注意										
テキスト	系看: 専門分野 成人看護学3 循環器系(医学書院)									
参考図書										

授業科目	診断学総論		単位	各論と合せて1単位	時間数	4時間	講義時期	1年次	担当者	大石 敏弘
									職種	医師
授業の目標・ねらい	1. 各種の症状やデータをもとに健康障害を診断するプロセスについて理解し、看護に応用できるように学ぶ。 2. 医学における診断のプロセスを理解する。									
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当者		
		1	診断の流れ				講義・演習	大石		
		2	診断時のバイタルサインに実際				講義・演習	大石		
		3	試験					大石		
評価方法	筆記試験									
履修上の注意										
テキスト	系看: 別巻 医学概論(医学書院)									
参考図書										

授業科目	診断学総論各論(臨床検査)		単位	総論と合わせて1単位	時間数	11時間	講義時期	1年次	担当者	亀山 栗田 中島 原田 櫻井
										職種
授業の目標・ねらい	1. 各種の症状やデータをもとに健康障害を診断するプロセスについて理解し、看護に応用できるように学ぶ。 2. 医学における診断のプロセスを理解する。									
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当者		
	基礎	1	臨床検査の基礎				講義	亀山		
	血液	2	血液検査①				講義	原田		
		3	血液検査②				講義	原田		
	一般	4	一般検査、微生物検査				講義	栗田		
	病理	5	病理検査、内分泌検査				講義	中島		
	生理	6	生体検査				講義	櫻井		
		7	試験							
単元ごとは順不同です。										
評価方法	筆記試験									
履修上の注意										
テキスト	系看: 別巻 臨床検査(医学書院)									
参考図書										

授業科目	治療学 I (臨床薬物学)	単位	1単位	時間数	30時間	講義時期	2年次	担当者	杉本 吉春 菅沼 博茂
								職種	薬剤師
授業の目標・ねらい	1. 疾病に対して有効に作用する薬物の基礎知識を学び、看護に応用できるように理解する。 2. 治療にかかわる他職種の役割を理解する。								
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当者	
		1	抗感染症薬概論、各論				講義	杉本	
		2	抗感染症薬、末梢神経作用薬①				講義	杉本	
		3	末梢神経作用薬②				講義	杉本	
		4	中枢神経系作用薬①				講義	杉本	
		5	中枢神経系作用薬②				講義	杉本	
		6	中枢神経系作用薬③、循環器系治療薬①				講義	杉本	
		7	循環器系治療薬②				講義	杉本	
		8	血液疾患系治療薬、ステロイド、凝固系・抗血栓薬				講義	杉本	
		9	薬理学とは				講義	菅沼	
		10	処方とは				講義	菅沼	
		11	漢方薬と化学療法治療薬				講義	菅沼	
		12	薬物代謝				講義	菅沼	
		13	相互作用				講義	菅沼	
		14	ステロイドについて				講義	菅沼	
		15	糖尿病薬について				講義	菅沼	
		16	試験						
単元ごとは順不同です。									
評価方法	筆記試験								
履修上の注意									
テキスト	系看: 専門基礎 薬理学(医学書院) イメージできる薬理学() 今日の治療薬 (南江堂)								
参考図書									

授業科目	治療学Ⅱ (麻酔学)		単位	1単位	時間数	15時間	講義時期	2年次	担当者	白石義人
									職種	医師
授業の目標・ねらい	1. 麻酔の基礎知識とそれによって起こる人体の影響について学び、看護に応用できるように理解する。 2. 治療に係る他職種の役割を知る。									
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題					方法	担当者	
		1	麻酔とは					講義	白石	
		2	全身麻酔（麻酔薬、術前検査について）					講義	白石	
		3	全身麻酔（術中管理、術後管理、合併症について）					講義	白石	
		4	局所麻酔（脊椎麻酔、くも膜下麻酔、硬膜下麻酔）					講義	白石	
		5	術中の呼吸管理					講義	白石	
		6	手術療法と体液管理①					講義	白石	
		7	手術療法と体液管理②					講義	白石	
		8	試験						白石	
評価方法	筆記試験									
履修上の注意										
テキスト	系看：別巻 臨床外科看護総論（医学書院）									
参考図書										

授業科目	治療学Ⅲ (放射線療法)	単位	治療学Ⅲで合 わせて1単位	時間数	10時間	講義時期	2年次	担当者 職種	塚本 慶 齋藤 亮 医師
授業の 目標・ね らい	1. 疾患に対して有効に作用する放射線の基礎知識を学び、看護に応用できるようにする。 2. 治療に関わる他職種の役割を理解する。								
授業内 容および 方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当者	
		1	放射線総論、防護				講義	塚本	
		2	X線診断				講義	塚本	
		3	CT				講義	塚本	
		4	MRI、US、RI、IVR				講義	塚本	
		5	放射線治療				講義	齋藤	
		6	試験					塚本	
評価方法	筆記試験								
履修上の注意									
テキスト	系看：別巻 臨床放射線医学(医学書院)								
参考図書	#NAME?								

授業科目	治療学Ⅲ (リハビリテーション療法)	単位	治療学Ⅲで合わせて1単位	時間数	10時間	講義時期	2年次	担当者 職種	森下 廣美 作業療法士
授業の目標・ねらい	1. リハビリテーションの概念と治療に関わる看護師の役割を理解する。 2. リハビリテーションの技術を学び、看護に応用できるようにする。								
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当者	
		1	リハビリテーション看護とは				講義	森下	
		2	運動器の障害とリハビリテーション看護				講義	森下	
		3	中枢神経系の障害とリハビリテーション看護				講義	森下	
		4	移乗動作練習				講義・演習	森下	
		5	自助具と嚥下障害				講義	森下	
		6	試験						
評価方法	筆記試験								
履修上の注意	実習室で動きの演習をするため、運動のできる服装を指示する事があります。								
テキスト	NICE リハビリテーション看護(南江堂)								
参考図書									

授業科目	治療学Ⅲ (食事療法)	単位	治療学Ⅲで合 わせて1単位	時間数	10時間	講義時期	2年次	担当者 職種	新村 好示 管理栄養士
授業の 目標・ね らい	1. 人々の健康生活や疾病の回復のための栄養・食事の基礎的知識を学び、看護に応用できるように理解する。 2. 治療に関わる他職種の役割を理解する。								
授業内 容および 方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当者	
		1	病態栄養について				講義	新村	
		2	糖尿病の食事療法				講義	新村	
		3	CKD循環器の食事療法				講義	新村	
		4	術前・術後、妊娠時の食事療法				講義	新村	
		5	肺炎の食事療法				講義	新村	
		6	試験					新村	
評価方法	筆記試験								
履修上の注意									
テキスト	系看: 別巻 栄養・食事療法(医学書院) 食品成分表FoodDs(東京法令出版)								
参考図書	糖尿病食事療法のまめの食品交換表(日本糖尿病協会)								

授業科目	保健医療論	単位	1単位	時間数	15時間	講義時期	1年次	担当者	和田 英俊
								職種	医師
授業の目標・ねらい	<p>健康とは何か、病気とは、障害とは何かについて学習するとともに、患者や家族の立場、医療の立場から、保健・医療の基本について学ぶ。</p> <p>1. 健康と疾病・障害と保健医療のあり方について理解する。</p> <p>2. 保健医療の現状と課題について理解する。</p> <p>3. 保健医療福祉に関係する職者の役割を理解する</p>								
授業内容および方法		回	主題			方法	担当者		
		1	保健医療論① テーマ決定			グループワーク	和田		
		2	保健医療論② グループワーク			グループワーク	和田		
		3	保健医療論③ グループワーク			グループワーク	和田		
		4	保健医療論④グループワーク 発表準備			グループワーク	和田		
		5	保健医療論⑤グループワーク 発表準備			グループワーク	和田		
		6	発表			演習	和田		
		7	問題作成			演習	和田		
		8	試験						
評価方法	筆記試験								
履修上の注意									
テキスト	系看：専門基礎 総合医療論(医学書院)								
参考図書	千代豪昭・黒田研二：学生のための医学概論、第2版、医学書院								

授業科目	心の健康支援	単位	1単位	時間数	30時間	講義時期	2年次	担当者	村田 桂子
								職種	臨床心理士
授業の目標・ねらい	1. 人間の心理を学び、看護における人間関係に役立てる。 2. 人間の心理的変化の状況を学び、患者や家族を理解する基礎となるよう学ぶ。 3. 心の問題のあらわれと援助の実際について学ぶ。 4. 心理療法の理論と技法について学ぶ。								
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当者	
		1	教科書の見方、学習の進め方				講義	村田	
		2	臨床心理学とは				講義	村田	
		3	援助の対象				講義	村田	
		4	不登校事例				講義	村田	
		5	心身症				講義	村田	
		6	摂食障害事例				講義	村田	
		7	神経症				講義	村田	
		8	人格理論と発達理論				講義	村田	
		9	ユング・ロジャースと治療法				講義	村田	
		10	自己愛				講義	村田	
		11	発達理論				講義	村田	
		12	心理療法 非言語対症法				講義	村田	
		13	心理療法 アセスメント				講義	村田	
		14	知能検査、人格検査				講義	村田	
			15	試験					村田
評価方法	筆記試験								
履修上の注意									
テキスト	心とかかわる臨床心理(ナカニシヤ出版)								
参考図書									

授業科目	公衆衛生学	単位	1単位	時間数	15時間	講義時期	1年次	担当者	中部保健所長
								職種	医師
授業の目標・ねらい	1. 健康生活の基礎となる生活環境について理解する。 2. 衛生行政について理解する。 3. 地域社会における疾病の予防活動について理解する。								
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当者	
		1	公衆衛生 健康とは				講義	保健所長	
		2	感染症				講義	保健所長	
		3	食中毒				講義	保健所長	
		4	ALDS 肝炎				講義	保健所長	
		5	認知症、精神保健				講義	保健所長	
		6	学校と健康				講義	保健所長	
		7	介護保険、労働安全衛生、				講義	保健所長	
		8	試験						
評価方法	筆記試験								
履修上の注意									
テキスト	系看: 専門基礎 公衆衛生(医学書院) 国民衛生の動向(厚生統計協会)								
参考図書									

授業科目	社会福祉	単位	2単位	時間数	45時間	講義時期	1年次	担当者	佐々木 隆志
								職種	
授業の目標・ねらい	1. 社会福祉と医療・社会保障の関連性について理解する。 2. 社会資源のしくみとその活用方法を理解する。 3. 保健・医療・福祉の現状について学び、看護に役立てる。								
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当者	
		1	生活の中の社会福祉				講義	佐々木	
		2	社会福祉の課題				講義	佐々木	
		3	社会保障の仕組み、社会保障				講義	佐々木	
		4	イギリス・日本における社会福祉の発展				講義	佐々木	
		5	児童虐待防止法				講義	佐々木	
		6	社会福祉法				講義	佐々木	
		7	発達障害支援法 民生委員法				講義	佐々木	
		8	DV法の改正				講義	佐々木	
		9	日本年金機構他				講義	佐々木	
		10	全国社会福祉協議会他				講義	佐々木	
		11	ボランティア NPO法人より				講義	佐々木	
		12	ソーシャルワークと個別援助技術				講義	佐々木	
		13	成人後見人制度と日常生活支援事業				講義	佐々木	
		14	社会福祉				講義	佐々木	
		15	児童福祉制度				講義	佐々木	
		16	高齢者保健福祉制度				講義	佐々木	
		17	介護保険制度の背景				講義	佐々木	
		18	介護保険制度の給付				講義	佐々木	
		19	障害者施設の仕組み				講義	佐々木	
		20	障害者施設のサービスの仕組み				講義	佐々木	
		21	障害者の雇用促進法				講義	佐々木	
		22	生活保護法				講義	佐々木	
		23	試験					佐々木	
評価方法	筆記試験								
履修上の注意									
テキスト	社会福祉の基本体系(勁草書房) 系看:専門基礎 健康支援と社会福祉制度[3]社会保障・社会福祉(医学書院)								
参考図書									

授業科目	看護と法律	単位	1単位	時間数	30時間	講義時期	2年次	担当者	国京 則幸
								職種	
授業の目標・ねらい	<p>法がどのように社会で機能しているのか、また、看護と法との関連性を理解する。</p> <p>1. 看護業務に携わる人は豊かな人権感覚をもつ必要があることを理解する。</p> <p>2. 看護業務に携わる人の身分や業務に関する法を理解する。</p> <p>3. 健康な生活を維持するために必要な法を理解する。</p>								
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当者	
		1	看護と法、法律				講義	国京	
		2	看護師の法的措置				講義	国京	
		3	看護師の法的措置(業務)				講義	国京	
		4	民事責任の体系①				講義	国京	
		5	民事責任の体系②				講義	国京	
		6	刑事責任の体系①				講義	国京	
		7	刑事責任の体系②				講義	国京	
		8	医療の提供				講義	国京	
		9	医療保障(健康保険)				講義	国京	
		10	医療保障(国民保険)				講義	国京	
		11	医療保障				講義	国京	
		12	介護保険				講義	国京	
		13	関係法規①				講義	国京	
		14	関係法規②				講義	国京	
			15	試験					国京
評価方法	筆記試験								
履修上の注意									
テキスト	系看:専門基礎分野 健康支援と社会保障制度[4]看護関係法令 (医学書院)								
参考図書									